

## ≪川島ひばりが丘特別支援学校の活性化・特色化方針≫

<b>種別</b>	肢体不自由	<b>学部・学科</b>	小学部・中学部・高等部・ 訪問教育部	<b>R6.5.1 児童・生徒数</b>	(男) 82 (女) 51	計 133名
<b>アクセス</b>	J R 桶川駅もしくは東武東上線川越駅よりバス「釘無」バス停下車徒歩 5分					
<b>&lt;教育課程等&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 埼玉県特別支援教育の教育課程編成要領に基づき、児童生徒一人一人の障害の状況や発達の状況に応じて、複数の教育課程を編成している。</li> <li>○ 児童生徒に応じた教育課程を基に、学びやすい規模の集団を編成してグループ学習を行っている。</li> <li>○ グループの担任を中心に、学年、学部、総合支援部等、学校全体で協力して児童生徒の学びを深めている。</li> <li>○ 障害の状況等に応じて、家庭や施設での訪問教育を実施している。</li> </ul>						
<b>&lt;学校行事・部活動&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学部で開催する活気あふれる運動会・体育祭。… R 6 年度は学部毎に実施予定。</li> <li>○ 児童生徒一人ひとりが活躍する文化祭「ひばり祭」。… R 6 年度は土日 2 日間にわたって実施予定。</li> <li>○ 学年に応じた校外行事や宿泊学習、修学旅行を実施予定。</li> </ul>						
<b>&lt;家庭・地域との連携&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学部で、近隣の小中高等学校と学校間交流を行っている。</li> <li>○ 就学・転学、入学関係者対象の学校説明会を 2 回、一般対象の学校公開を 1 回実施。</li> <li>○ 支援籍学習（学年・グループ通信、作品やDVDレター、直接交流とオンラインによる間接交流等） R 6 年度は、小学部 27 名、中学部 2 名が実施予定。</li> <li>○ ニーズに応じて地域の小中学校や就学前施設の巡回相談及び教材・教具の貸し出しを実施。</li> <li>○ ニーズに応じた校外幼保小中高の児童生徒・保護者からの教育相談に対応。</li> <li>○ 秋に公開講座を予定。</li> <li>○ 小中学校で肢体不自由教育に携わる教員のための情報交換会を開催。</li> <li>○ 通学区域の教育委員会とのネットワーク会議や行政機関や医療機関とのケース会議を実施。</li> <li>○ ボランティア養成講座を年間 2 回実施予定。</li> <li>○ P T A と連携してサマースクールを開催予定。</li> </ul>						
<b>&lt;進路&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学部・中学部児童生徒の多くは、本校中学部・高等部にそれぞれ進学している。</li> <li>○ 高等部は、福祉への就労が多く、14名（生活介護14名）となっている。</li> </ul> <p>【福祉】近隣市町の福祉事業所。 複数の事業所を併用するケースが増加しており、令和5年度は14名中7名が該当している。</p>						

## 埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校 育成方針



マスコットキャラクター ひばりん

### ◆学校教育目標◆

- (1) 障害に伴う困難を改善・克服しながら、自ら生活を切り開く意欲や態度を養い、個性ある自己実現を図る。
- (2) 心の優しさやたくましさを養い、豊かで調和のとれた人間性を高める。

### ◆目指す学校像◆

- (1) 将来の自立や社会参加に向け、心豊かに、たくましく生きる力を身につけることのできる学校
- (2) 保護者や地域、関係諸機関から信頼され、誇れる学校

### ◆重点目標と具体的方策◆

(1) 児童生徒一人ひとりの可能性と力を最大限引き出す授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の資質と専門性の向上を図る研修の機会の設定。</li> <li>・自立活動の「流れ図」をもとにした、担任間の共通理解による自立活動の展開。</li> <li>・ICT 機器の活用を踏まえた日々の授業をはじめとする教育活動の充実。</li> <li>・学びを止めない働き方改革の推進。</li> </ul>
(2) 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター的機能の活用や進路実現を見据えた地域連携の充実。</li> <li>・支援籍学習や交流及び共同学習の機会の充実。</li> <li>・コミュニティスクールを活用した障害児教育の理解促進と教育活動における課題解決に向けた取組の実施。</li> </ul>
(3) 年間を通して児童生徒が健康で安全に学習できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット報告による危機管理意識の向上と情報の共有。</li> <li>・非常災害時を想定した引き渡し訓練等の実施。</li> <li>・日々の安全点検や健康観察による心身ともに安全な学習環境づくり。</li> </ul>

#### 小学部 学部目標

- (1) きづき いっぱい はっけんしよう
- (2) やるき いっぱい やってみよう
- (3) げんき いっぱい すごそう
- (4) ふれあい いっぱい ひろげよう

#### 中学部 学部目標

- (1) 自ら学び、考え、伝え合う力を伸ばそう。
- (2) 相手に思いやりの気持ちをもって、自分で決めたことをやり遂げよう。
- (3) 生活リズムを整え、自己理解のもと、健康的に過ごそう。
- (4) たくさんの人との関わり中で、自分の役割を見つけよう。

#### 高等部 学部目標

- (1) 人との関わりや生活経験を広げる中で、基本的な学力を培い自己表現力を高める。
- (2) より豊かな人生を送るための生活力や文化を享受する態度を身につける。
- (3) 基本的な生活習慣を整え、健康的な生活の向上を図る。
- (4) 将来の社会生活を意識し、働く意欲や態度を養い、知識や技能を身につける。

#### 訪問教育部 学部目標

- (1) 周りに気づこう、考えよう、表そう
- (2) 自分に気づこう、チャレンジしよう、やり遂げよう
- (3) 身体に気づこう、健やかでいよう
- (4) 周りとうりとりしよう